



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月28日

上場会社名 トリニティ工業株式会社
 コード番号 6382 URL <http://www.trinityind.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 玉木 利明

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 乗安 弘治

TEL 0565-24-4802

四半期報告書提出予定日 2021年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	7,061	11.8	537	32.5	652	54.0	417	38.5
2021年3月期第1四半期	8,005	2.6	405	26.6	423	32.8	301	35.4

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 758百万円 (389.6%) 2021年3月期第1四半期 154百万円 (71.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	25.44	
2021年3月期第1四半期	18.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	37,094	26,415	69.6	1,574.17
2021年3月期	39,108	26,000	65.0	1,550.90

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 25,817百万円 2021年3月期 25,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		9.00		21.00	30.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	9.6	500	33.5	600	27.1	300	43.6	18.29
通期	35,000	1.0	2,150	9.6	2,300	5.1	1,600	1.2	97.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	18,220,000 株	2021年3月期	18,220,000 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,819,314 株	2021年3月期	1,819,314 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	16,400,686 株	2021年3月期1Q	16,400,686 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は70億6千1百万円と前年同四半期と比べ9億4千3百万円(11.8%減)の減収となりました。

営業利益は5億3千7百万円と前年同四半期と比べ1億3千1百万円(32.5%増)の増益、経常利益は6億5千2百万円と前年同四半期と比べ2億2千8百万円(54.0%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億1千7百万円と前年同四半期と比べ1億1千5百万円(38.5%増)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・設備部門

設備部門は、塗装設備納入等の減少により売上高は51億4千万円と前年同四半期と比べ14億6千7百万円(22.2%減)の減収、営業利益は8億9千6百万円と前年同四半期と比べ5千3百万円(5.7%減)の減益となりました。

・自動車部品部門

自動車部品部門は、内装部品及び外装部品の生産・販売の増加により売上高は19億2千万円と前年同四半期と比べ5億2千3百万円(37.5%増)の増収、営業利益は8千8百万円(前年同四半期は1億4千6百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.6%減少し、242億6千7百万円となりました。これは主に、現金及び預金が13億6千6百万円増加、電子記録債権が13億7千2百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が52億9千8百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.5%増加し、128億2千7百万円となりました。これは主に、有形固定資産のその他(純額)が2億3千5百万円増加、投資その他の資産のその他が3億4千4百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.2%減少し、370億9千4百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.7%減少し、94億4千3百万円となりました。これは主に、その他が9億1百万円増加した一方、電子記録債務が9億1百万円減少、支払手形及び買掛金が4億7千6百万円減少、賞与引当金が3億5千6百万円減少、未払法人税等が3億4千4百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて48.7%減少し、12億3千6百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が12億1百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて18.5%減少し、106億7千9百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、264億1千5百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が1億5千6百万円増加、その他有価証券評価差額金が1億4千2百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年4月28日に公表いたしました予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,772,436	13,138,873
受取手形及び売掛金	12,844,880	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	7,546,427
電子記録債権	963,533	2,336,505
製品	45,512	43,450
仕掛品	606,299	640,569
原材料	457,934	427,572
その他	148,096	134,146
貸倒引当金	△131	△164
流動資産合計	26,838,561	24,267,381
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,232,097	5,232,097
その他(純額)	3,486,241	3,721,706
有形固定資産合計	8,718,338	8,953,804
無形固定資産		
投資その他の資産	133,048	121,297
その他	3,439,446	3,783,964
貸倒引当金	△20,534	△32,023
投資その他の資産合計	3,418,912	3,751,940
固定資産合計	12,270,299	12,827,041
資産合計	39,108,860	37,094,423
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,698,962	2,222,316
電子記録債務	4,255,158	3,353,858
未払法人税等	592,860	248,018
賞与引当金	729,501	372,855
役員賞与引当金	67,841	16,351
完成工事補償引当金	83,972	60,271
その他	2,268,423	3,169,471
流動負債合計	10,696,719	9,443,143
固定負債		
役員退職慰労引当金	196,292	46,237
退職給付に係る負債	1,363,967	162,421
その他	851,059	1,027,618
固定負債合計	2,411,318	1,236,276
負債合計	13,108,037	10,679,419

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,311,000	1,311,000
資本剰余金	790,542	790,542
利益剰余金	23,944,310	24,017,085
自己株式	△1,613,772	△1,613,772
株主資本合計	24,432,080	24,504,854
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,172,270	1,315,095
為替換算調整勘定	△10,589	145,986
退職給付に係る調整累計額	△157,954	△148,501
その他の包括利益累計額合計	1,003,726	1,312,581
非支配株主持分	565,016	597,567
純資産合計	26,000,822	26,415,003
負債純資産合計	39,108,860	37,094,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	8,005,379	7,061,779
売上原価	6,573,627	5,414,515
売上総利益	1,431,751	1,647,264
販売費及び一般管理費	1,026,437	1,110,240
営業利益	405,314	537,023
営業外収益		
受取利息	17,936	10,278
受取配当金	23,955	26,890
持分法による投資利益	-	58,365
雑収入	10,095	27,961
営業外収益合計	51,987	123,496
営業外費用		
為替差損	3,664	-
固定資産除却損	12	2,120
持分法による投資損失	24,529	-
投資有価証券評価損	5,096	5,433
雑支出	32	235
営業外費用合計	33,335	7,788
経常利益	423,965	652,731
税金等調整前四半期純利益	423,965	652,731
法人税等	108,640	223,632
四半期純利益	315,324	429,099
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,087	11,910
親会社株主に帰属する四半期純利益	301,237	417,188

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	315,324	429,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,885	142,824
為替換算調整勘定	△221,758	175,678
退職給付に係る調整額	14,542	9,453
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,053	1,539
その他の包括利益合計	△160,384	329,495
四半期包括利益	154,939	758,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179,834	726,043
非支配株主に係る四半期包括利益	△24,894	32,551

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に与える影響はありません。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	設備部門	自動車部品部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,607,817	1,397,562	8,005,379	—	8,005,379
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,607,817	1,397,562	8,005,379	—	8,005,379
セグメント利益又は損失(△)	950,911	△146,171	804,739	△399,425	405,314

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△399,425千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	設備部門	自動車部品部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,140,813	1,920,966	7,061,779	—	7,061,779
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,140,813	1,920,966	7,061,779	—	7,061,779
セグメント利益	896,968	88,113	985,082	△448,058	537,023

(注) 1. セグメント利益の調整額△448,058千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。